

『館林市史別巻―館林の里沼―（日本遺産認定記念）』の頒布について

文化振興課市史編さんセンターでは、日本遺産認定記念として『館林市史別巻―館林の里沼―』を頒布いたします。

本市では、平成13年度から市史編さん事業を進め、令和3年度に全16巻（資料編6冊・特別編7冊・通史編3冊）が完成し、順次別巻を刊行しています（下記参照）。

本書は令和元年に認定された日本遺産「里沼（SATO-NUMA）―「祈り」「実り」「守り」の沼が磨き上げた館林の沼辺文化―」を記念して、これまで市史編さんで調査した資料をもとに、新たな調査成果を加えて、自然・歴史・考古・民俗・芸術など総合的な視点で「里沼」をとらえ、400点以上のカラー写真や図表とともに1冊にまとめました。

館林の沼の成り立ちや沼に生息する動植物、中世・近世・近代の古文書や絵図などから見た沼の記録と変遷、沼に関わる遺跡、沼での生業や食文化などをまとめています。

「里沼」とは何か、なぜ館林の沼は「里沼」なのかを本書から紐解くことができます。

本書は令和4年9月6日（火）より一般頒布します。概要は別紙のとおりです。

<参考>館林市史（全16巻）の刊行状況

刊行書名	内容予定
通史編 3巻 ※完了	◇1 「館林の原始古代・中世」 ※既刊 ◇2 「近世館林の歴史」 ※既刊 ◇3 「館林の近代・現代」 ※既刊
特別編 7巻 ※完了	◇1 「館林とツツジ」 ※既刊・在庫なし ◇2 「絵図と地図にみる館林」 ※既刊・DVD版のみ ◇3 「館林の自然と生きもの」 ※既刊 ◇4 「館林城と中近世の遺跡」 ※既刊 ◇5 「館林の民俗世界」 ※既刊 ◇6 「館林の町並みと建造物」 ※既刊 ◇7 「館林の文化と芸術」 ※既刊
資料編 6巻 ※完了	◇1 原始古代「館林の遺跡と古代史」 ※既刊 ◇2 中世「佐貫荘と戦国の館林」 ※既刊・在庫なし ◇3 近世Ⅰ「館林の大名と藩政」 ※既刊・在庫なし ◇4 近世Ⅱ「館林の城下町と村落」 ※既刊 ◇5 近現代Ⅰ「近代館林の歩みと社会」 ※既刊 ◇6 近現代Ⅱ「鉾毒事件と戦争の記録」 ※既刊
別巻 ※作成中	◇別巻 市制60周年記念写真集「写真で見る館林」 ※既刊 ◇別巻 普及版「館林の歴史」 ※既刊 教材版「ぼんちやんと学ぼう 館林の歴史」 ※既刊 ◇別巻「館林の寺社と史料」 ※既刊 ◇別巻「館林の里沼」 ※新刊

○館林市史編さん事業では、令和3年度に『館林市史』全16巻（資料編6冊・特別編7冊・通史編3冊）が完成し、現在は別巻を作成中です。今後は、市制施行70周年記念誌や「寺社の文化財Ⅰ～Ⅲ」（絵馬・建造物・仏像）などを刊行していきます。

◇申し込み・問合せ先

館林市教育委員会文化振興課 市史編さんセンター

〒374-0018 群馬県館林市城町2-3（第二資料館内）

TEL・FAX 0276-76-7651

E-mail shishihensan@city.tatebayashi.gunma.jp

<別紙>

『館林市史別巻―館林の里沼―（日本遺産認定記念）』について

1 概要

- ①大きさ B5判
- ②ページ数 250 ページ（オールカラー）
- ③発行部数 1,200 部

2 作成の目的

令和元年5月に日本遺産に認定された「里沼(SATO-NUMA)―「祈り」「実り」「守り」の沼が磨き上げた館林の沼辺文化―」を記念して、館林市の「里沼」の歴史・文化・自然を次の8章に分けてまとめたものです。

3 全体構成と主な内容

章	主な内容と特徴
第一章 「里沼」へのアプローチ	「里沼」についての定義づけとともに、館林の「里沼」の希少性を地形・地質、動植物などの観点から紹介。特に、館林の沼の成り立ちを図で解説するとともに、貴重な動植物の宝庫にもなっている里沼の生物多様性について記述する。
第二章 記録・資料から知る「里沼」	原始古代から現代までの沼とその変遷について様々な歴史資料から紹介。特に江戸時代の絵図や記録（「元禄上野国絵図」・徳川綱吉時代の資料）に記載された館林や邑楽郡内の沼を取り上げるとともに、時代によって沼との関わりが変化した歴史をまとめる。
第三章 暮らしを支えた「里沼」	沼が人びとの暮らしとどうかかわってきたのか、漁撈や農耕、藻刈り、食文化について記述。特に近藤沼をはじめとして、各沼に見られた「掘り上げ田」について、昭和20年代から50年代の貴重な写真でその景観を紹介する。
第四章 「祈りの沼」茂林寺沼	茂林寺沼の成り立ちを図で解説するとともに、茂林寺創建の歴史と分福茶釜伝説、沼の植物の活用などを記述。特に信仰の拠点と沼とのかかわりについて考察する。
第五章 「実りの沼」多々良沼	多々良沼の製鉄伝説の実態を最新の科学分析などからまとめるとともに、用水や漁撈を通してさまざまな実りをもたらしてきた多々良沼の歴史を記述。特に多々良沼の水位の変化から現在も貯水池の役割を持っていることを解説する。
第六章 「守りの沼」城沼	城沼と館林城の歴史を城絵図などからまとめるとともに、名勝「躑躅ヶ岡」と合わせて中世から現代までの「守りの沼」の歴史を記述。特に「躑躅ヶ岡」は沼の景観と一体になっていることで希少価値が高いことを各時代の資料から読み取る。
第七章 「里沼」のもてなし文化	近代の城下町の発展と沼とのかかわりの中でもてなし文化が育まれていった「里沼」の歴史を記述。特に東武鉄道の開通によって「里沼」が観光地化されていった経緯を紹介する。
第八章 「里沼」を未来へ	沼の景観が芸術の題材となる一方で、高度経済成長期以降、水質の悪化による環境問題が起こり、官民一体となった環境への取り組みを記述。まとめとして、「里沼」の日本遺産認定の意義について、日本遺産審査委員による寄稿も掲載する。

4 その他

①執筆者

館林市史専門委員会の専門委員・調査員 19 名ならびに日本遺産審査委員の寄稿

②頒布の内容

- (1) 頒布価格 1冊 2,000円
- (2) 頒布開始 令和4年9月6日（火）より
- (3) 頒布部数 600部
- (4) 頒布場所 市内公共機関…市史編さんセンター（第二資料館内）・文化会館・第一資料館・図書館・向井千秋記念子ども科学館・田山花袋記念文学館・市内各公民館・群馬県立館林美術館ミュージアムショップ
市内書店…文真堂書店小桑原店・宮脇書店アゼリア店

※遠隔地の方は郵便振替による購入が可能。電話・FAX・Eメールで受け付ける。

館林市史 刊行案内

刊行書名	内容予定
通史編	◆1 館林の原始古代・中世 ◆2 近世館林の歴史 ◆3 館林の近代・現代
特別編	◆第1巻 館林とツツジ (頒布終了) ◆第2巻 絵図と地図にみる館林(DVD版のみ) ◆第3巻 館林の自然と生きもの ◆第4巻 館林城と中近世の遺跡 ◆第5巻 館林の民俗世界 ◆第6巻 館林の町並みと建造物 ◆第7巻 館林の文化と芸術
資料編	◆1 原始古代<館林の遺跡と古代史> ◆2 中世<佐貫荘と戦国の館林> (頒布終了) ◆3 近世Ⅰ<館林の大名と藩政> (頒布終了) ◆4 近世Ⅱ<館林の城下町と村> ◆5 近現代Ⅰ<近代館林の歩みと社会> ◆6 近現代Ⅱ<鉞毒事件と戦争の記録>
別巻	◆市制施行60周年記念 写真で見る館林 ◆普及版 館林の歴史 ◆館林の寺社と史料 ◆ 館林の里沼

『館林市史』は、通史編3巻・特別編7巻・資料編6巻の全16巻を刊行しました。館林の自然、歴史、民俗など、さまざまな分野から、特色ある文化遺産を紹介し、未来へ伝えていきます。今後は別巻を刊行予定です。



『館林市史』特別編、資料編、通史編、別巻

■館林市史購入のご案内

お申し込み方法

頒布窓口：下記でご購入できます。

場 所	取り扱い
館林市史編さんセンター (館林市第二資料館内) 館林市文化会館	
田山花袋記念文学館 向井千秋記念子ども科学館	休館日(月曜・祝日の翌日)を除く
館林市立図書館 館林市第一資料館	休館日(月曜・祝日の翌日・月末整理日)を除く
群馬県立館林美術館ミュージアムショップ	休館日(月曜・祝日の翌日)を除く ※一部展示替による臨時休館日を除く
館林市内の書店／公民館	

◆郵送の場合

遠隔地の方は郵便振替による購入ができます。
電話・FAX・Eメールで下記にお申し込みください。

〒374-0018 群馬県館林市城町 2-3(館林市第二資料館内)

館林市史編さんセンター

TEL・FAX 0276-76-7651

E-mail shishihensan@city.tatebayashi.gunma.jp



発刊のご案内

館林市史

館林の里沼

館林市史 別巻 日本遺産認定記念

館林市には現在、茂林寺沼・多々良沼・城沼・近藤沼・蛇沼の五つの沼があります。これらの沼とその歴史・文化や景観を象徴した「里沼」が、令和元年五月に日本遺産に認定されました。

本書は認定を記念して、古代から現代までの「里沼」の歩みをさまざまな資料から読み解き、「祈り」「実り」「守り」の沼の歴史や人びとの暮らしとのかかわりをたどるものです。



館林市史 別巻
館林の里沼 日本遺産認定記念
B5判 250ページ (オールカラー)
2,000円

「里沼」について、その定義をするとともに、記録・資料・生活・地形・動植物といったさまざまな面から見ていきます。

さらに、「祈りの沼」茂林寺沼、「実りの沼」多々良沼、「守りの沼」城沼を中心に、それぞれの沼の歴史をまとめ、もてなしの心へと磨き上げられてきた館林の沼辺文化を紹介します。

「里沼」を未来に残していくために、これまでの「里沼」の歴史と文化を凝縮し、伝える一冊です。

別巻「館林の里沼」の構成

◆第1章 「里沼」へのアプローチ

館林の「里沼」／日本の沼と湿原／館林の沼の成り立ちと
生い立ち／館林の沼と動植物

◆第2章 記録・資料から知る「里沼」

館林の沼と遺跡／古代の沼と暮らし／中世の沼／近世の沼
／近代・現代の沼

◆第3章 暮らしを支えた「里沼」

沼と河川／沼の漁撈／沼と水田／沼と食文化
／沼の植物を暮らしに生かす

◆第4章 「祈りの沼」茂林寺沼

総説―「祈り」の拠点と茂林寺沼―／「里沼」の原風景
／茂林寺の開山と歴史／分福茶釜伝説
／江戸時代の茂林寺沼と暮らし

◆第5章 「実りの沼」多々良沼

総説―「実り」をもたらす多々良沼―／多々良沼と館林古砂丘
／多々良沼遺跡とたたら製鉄／大谷休泊と多々良沼
／多々良沼の管理と利用／多々良沼の特色ある漁法
／多々良沼の伝説

◆第6章 「守りの沼」城沼

総説―館林城の「守り」を固めた城沼―／館林城と城沼
／つつじが岡と城沼／明治維新後の城沼の開発／城沼の伝説

◆第7章 「里沼」のもてなし文化

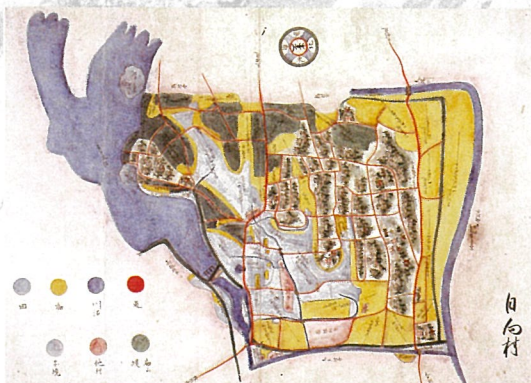
城下町と近代産業／東武鉄道の開通と観光／さまざまな名産品
／館林織物と織姫神社・館林柚

◆第8章 「里沼」を未来へ

描き・詠まれた「里沼」／沼と環境／日本遺産「里沼」をどう
活かすか／日本遺産「里沼」認定後の取り組み



昭和40年(1965)頃 善長寺の渡しと城沼(個人蔵)



安政2年(1855)「封内経界図誌」日向村絵図に描かれた多々良沼(館林市立資料館所蔵)



茅葺き屋根の茂林寺の山門